

FURUSATO

劇 ふるさとときやらばん公演

CARAVAN

ふるきやら流 エコミュージカル

ホープ・ランド

希望の大地へ！冒険の旅だち

作・演出
石塚 克彦
演出助手
天城 美枝
音楽
寺本 建雄
振付
小澤 薫世
栗村 勝
劇団ダンススタッフ
チーフプロデューサー
ひらつか 順子
制作
花岡 由雄
劇団制作部

最近評判面白一座



※観劇対象は小学生以上です。未就学児のお子様は入場できません。

2009年8月22日(土) 開場17:00 開演17:30

静岡市民文化会館 中ホール

主催 劇団ふるさとときやらばん

協賛 スパ・因子重

後援 環境省、林野庁、(社)日本経団連自然保護協議会
静岡県地球温暖化防止活動推進センター

全席自由：大人3,500円／小中学生2,000円 (当日500円増)

お問い合わせ/お申し込み先

ふるさとときやらばんチケットセンター

TEL0120-057-761

(平日10:00~18:00 土日祝除く)

地球温暖化を大人と

子供と一緒に考える

ホープ・ランドを観る人の症状と効きめ
地球環境を気にしている人
環境モンダイに関心はあるけどナニを
やっていいかわからない人
何か行動を起こしたい人

地球が壊れる！ ニッポンが壊れる！
ニッポンの山里はステキに豊かだ！
地球は豊かだ！

とてもはく力が
ありました。
おもしろくて目がはなせませんでした。
またみたいです。たのしみしています。
(広島市・小学4年 9歳)

メッセージも伝わって、
話にひきこまれました。
(金沢市・主婦 34歳)

小学生にはむずかしいかと思っていきましたが、
けっこう楽しそうで、真剣にみていました。
タップダンスもあり、
私もちのしかったです。

地球温暖化で、海に沈んでしまった赤道直下の島がありました。それはそれは珊瑚礁の美しい島でありました。
一方、過疎という日本特有の病気で、見捨てられ、荒れはてた山里がありました。
そこに南の島の人々がやって来る、冒険メルヘンの始まりです。
緑の大地と水と太陽の光があれば人間は生きてゆけると信じていた南の島の人々には、お金がないと生きてゆけないと思いこんでいるニッポン人を理解することができません。このミュージカルは、ニッポンの山と田んぼと自然の現代を、大人と子供が一緒に見つめ直すひとときです。

驚かされた！直球でドーンと来た
今回の「ホープ・ランド」には、驚かされました。まさしく環境教育でも、これでもかと盛り込まれてます。
環境は知識と感ずることが必要だと思いますが、「ホープ・ランド」を観れば一挙に両立できます。

私たちが行動に駆り立てるのは感動です
自然環境や生物多様性の保全は、かけ声だけでは実現しません。様々な分野の人々が連携し、具体的な行動を起こす必要があります。では、私たちが行動に駆り立てるものとは何でしょうか。それは感動です。「ホープ・ランド」には、その感動があります。

私たちが行動に駆り立てるのは感動です
住友信託銀行 企画部社会活動統括室 審議役 石原博

新作エCOMUSICAL
ホープ・ランドを観た！
「ホープ・ランド」は、人類が抱えている環境問題そのものから始まる。そして、エコよりももっと原点にある「学ぶ、助け合う、共に生きる」などのメッセージが、キャストのエネルギーと共に降りそそぐ。気付

味・素労働組合 西脇徹



劇団ふるさときゃらばんとは 1983年創立 劇団員100名

その名の通り日本中を旅し、日本の暮らしに根ざした日本人のためのミュージカルの上演を行う劇団として発足。創立以来、上演した全国の市町村は1,000自治体を超える。2005年の日本国際博覧会「愛・地球博」で2作品のべ2ヶ月間の上演を行い、連日超満員となった。

また、その活動は国内だけではなく、日米合作ミュージカルでアメリカ各地を巡演し、その評判がヨーロッパに伝わり、バルセロナオリンピック芸術祭での上演を要請されるなど、ふるさときゃらばんの旅は国外にまで足を伸ばしている。

公演実績

全47都道府県 1,173自治体 東京23区511市535町104村
上演回数4,454ステージ 観客動員428万7千人
(2008年7月末日現在 上演時の自治体名をもとに集計)

第40回記念文化庁芸術祭賞(1985年)、第6回日本イベント大賞最優秀企画賞(1989年)、第4回スポニチ文化芸術大賞グランプリ(1996年)など数々の演劇賞を受賞。